

使命を果たした翼 第二の運命を追って

芸術研究科 造形表現専攻
写真・映像領域 博士前期課程
2024年3月修了

永田海將

主査 百瀬俊哉 副査 大日方欣一 佐藤慈

研究背景

2020年私が大好きだった飛行機F-4戦闘機が日本の空から退いた。それを期に私の飛行機を見る目が変わりました。私はF-4が退役するまで用途廃止航空機(飛べなくなった飛行機)に興味を持つことはありませんでした。F-4の退役を期に用途廃止機を調査し、残された航空機の魅力と航空遺産としての記録などを環境と共に残したいと考え制作にあたりました。

研究目的

用途廃止航空機が展示されている環境は様々であり、手入れが施されず保存状態の悪いものも存在している。そういったものは、倒壊などの危険性から解体されるなど、展示ができなくなるものも数多く存在している。そのような観点から用途廃止航空機には歴史的価値があると考えられている一方、展示されている環境は公園などの航空機と無縁な場所であることも多い。そこで、展示されている環境も含め、現状を記録することにした。しかし、展示されている航空機も老朽化により撤去されることが増えている。用途廃止航空機を展示環境と共に記録し、後世のために記録として残した。

研究概要



成果・まとめ

本制作では、用途廃止航空機の現状と環境要素を記録するために撮影しました。制作においては気象環境、展示場所、時間帯と事前の準備が重要な場面が多くありました。これからも引き続き人間が作り出したモノを記録していきたいと考えています。



指導教員コメント

用途廃止航空機から歴史的価値を見出し、展示されている環境も含めての記録を行なっている。継続して撮影したことで、それぞれの背景を想像し得るからこそ、その姿をとらえた写真は不思議な魅力を放っている。公園などに設置され再利用されながら、人工物である航空機と自然が、見事に融合しあっている様もまた美しく感じられる光景である。

百瀬俊哉